



## 3学年校外学習(震災学習)



7月9日(火)、3学年の生徒は校外学習で陸前高田市を訪問しました。見学したのは陸前高田市立博物館と東日本大震災津波伝承館です。東日本大震災発生から13年4ヶ月たちました。当時の被害状況や自然災害の恐ろしさ、命の大切さ、命を守るために必要なこと、これからの生き方。一人一人がたくさんを感じ、考えてきたことと思います。

ビデオや展示物で津波の恐ろしさを知ることができました。大変な中で活躍した人たちについて調べることができたり、どのようにして復興してきたのかを知ることができました。いつかまた津波が来ても大丈夫なように僕たちで未来へつないでいこうと思いました。

鈴木 士悠さん



たくさんの展示物を見てどんなことが起こったか改めて学ぶことができました。東日本大震災の時の写真や動画を見ながら詳しく学ぶことができました。これからは大地震が起きたら、自分にできることを考えて行動したいです。

小向 あおいさん



自分はあまり津波に関わりがない地域に住んでいるので、津波のことは話でしか教わってきませんでした。でも、実際の映像を見て、初めて津波の恐ろしさを知りました。

高橋 凜々子さん

当時の映像や被災した展示物、震災遺構などで大震災の事実を感じることができました。また、大震災後の人々の向き合い方を知り命を守るための教訓を学ぶことができました。

福盛田 宗介さん

一番印象に残っているのは「てんでんこ」の合い言葉です。東日本大震災では津波が来ても逃げなかった人がいたらしいけれど、もしも次、大きな地震が来たらみんな「てんでんこ」に逃げて欲しいです。

佐藤 天花さん

